



なぎさ俳句会

なぎさ公園小学校では、春、夏、秋、冬の季節ごとに俳句づくりに取り組んでいます。季節を感じ、言葉で表現する喜びを味わってほしいからです。

春の俳句会では、2年生以上で、416の投句がありました。審査の結果、24句の優秀作品が選ばれ、先日、放送で紹介したところです。

また、団体賞として、3年つばき組、3年かえで組、5年銀杏組が受賞しました。5月15日には、テレビなどでご活躍の夏井いつき先生を愛媛の地からお招きし、指導を仰ぎました。俳句の作り方を学び、楽しく俳句を作ることができ、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

受賞した24句は、ウッドデッキに掲示して、みんなのお手本にしています。

進級した喜びや春の季節を楽しんだり、喜んだりする気持ちが伝わる作品が多くみられ、うれしいことでした。



俳句名人カード



これまでは、表彰状を渡していましたが、このたび、保護者の方のご協力により、左のような俳句名人カードを創ることができましたので、

受賞作品と共に渡すこととします。

これから、夏の俳句会を行いますので、ぜひ投句して、ことばを楽しむ機会としてほしいと思います。

17文字の中に「自分らしい表現を考えたり、誰も思いつかないようなことばの響きを感じたりして心にうつった風景を表現しましょう。」と夏井いつき先生も教えてくださいました。言葉を磨き心を養っていきましょう。

夏のなぎさ俳句会は、6月5日（金）～7月4日（土）までです。素敵なことばに出会えますように。

シダレモミジ

葉が深く切れ込み、枝が垂れる。イロハモミジの園芸種。青枝垂、紅枝垂などがある。

今月の生活目標

- 身なりをととのえよう
- 雨の日は、静かに過ごそう

英語で楽しく学ぶ

英語は、1、2年生は、毎日15分のモジュールタイムで学習します。聞く、話す、読む、書くの4領域をバランスよく学びます。ひらがな指導と同じように、空書きをしながらアルファベットの読み書きを練習します。



ネイティブの先生と日本人の先生と二人で指導をします。1、2年生では、週2時間、3年生以上では、週3時間の学習が行われます。



外国のお客様が来られた時にも、「Hello!」と進んで挨拶ができたり、聞かれたことに上手に受け答えができたりするなど、たのしいなぎさっ子たちです。

ことばの力は、毎日の暮らしの中で養われるものです。季節の移り変わりを感じたり、心がうごいたりすればするほど、豊かなことばの世界が広がります。日本語も英語も人と人の心をつなぐ役割があることに変わりはありません。これからも、心ふるわせながら、ことばを磨いていきましょう。